

上越市議会議員一般選挙 投票日は4月26日①です

■問合せ：上越市選挙管理委員会事務局（☎025・526・5111、内線1388）

市議会議員選挙に併せて、地域協議会委員の選任投票も行います。なお、各地域自治区の公票者数が定数を超えない場合は投票はありません。選任投票を行う地域自治区は別途お知らせします。

4月26日①に、任期満了による上越市議会議員一般選挙が執行されます。投票所・投票時間、期日前投票などについては、広報上越4月号で詳しくお知らせします。

なお、次の投票方法による投票（不在者投票）を希望する人は、事前に手続きが必要ですので、早めに市選挙管理委員会に連絡してください。選挙は、皆さんの意思を政治に反映する大切な機会です。棄権せずにあなたの大切な一票を生かすため投票しましょう。

指定病院などでの不在者投票

上越地域医療センター病院、県立中央病院、新潟労災病院、上越総合病院、特別養護老人ホームおよび老人保健施設など指定の病院や施設に入院・入所している人は、その病院

等で不在者投票ができます。投票用紙の交付申請手続きなど、詳しくは市選挙管理委員会または病院、施設の係員に問い合わせてください。市外の病院や施設に入院・入所している人が不在者投票を希望する場合は、早めに市選挙管理委員会へ申し出てください。

身体に障害のある人の郵便などによる不在者投票

次の(1)～(3)のいずれかに該当する人は、自宅から郵便などによる投票ができます。新たに郵便などによる不在者投票を希望する場合は、事前に手続きが必要です。市選挙管理委員会へ申し出てください。

- ①両下肢、体幹、移動機能の障害が1級または2級
- ②心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害が1級または3級
- ③免疫、肝臓の障害が1級～3級
- ④戦傷病者手帳を持っている人で障害の程度が①か②のいずれかに該当する人
- ⑤両下肢、体幹の障害が特別項症
- ⑥内臓機能の障害が特別項症
- ⑦3項症
- ⑧介護保険「要介護5」の人
- ※(1)～(3)の項目に該当する人で、かつ上肢もしくは視覚の障害の程度が身体障害者手帳で1級または戦傷病者手帳で特別項症、第2項症の人は、事前に手続きすると代理人の記載で投票できます。

他の市区町村に滞在している人の不在者投票
仕事などで他の市区町村に滞在し、選挙期間中に上越市へ帰ることができない人は、市選挙管理委員会に投票用紙を請求し、滞在地の選挙管理委員会へ不在者投票をすることができません。不在者投票は、滞在地で行った不在者投票の投票用紙が投票日までに市選挙管理委員会へ到着する必要があります。早めに手続きをしてください。手続きに必要な書類は、市ホームページからダウンロードすることもできます。書類に必要な事項を記入のうえ、市選挙管理委員会事務局（〒943-8601 木田1-1-3）へ郵送してください。



市民と市長との対話集会を開催

1月24日、清里区を拠点に活動するママさんバレーボールチーム「清里むつみ」のメンバーと、市政に関する対話集会を開催しました（写真上）。

メンバーからは、「同じように活動するチーム数が減ってきている」「体育館の利用予約は抽選なので、練習場所の確保が大変」など、チームの活動に関する話題が多くありました。

また、「近所に空き家があり、心配している」との声もあり、市長は「現地確認を行うなど、対応したい」と答えたほか、「皆さんの頑張りが地域の活力につながる。今後も皆さんの活躍に期待したい」と激励しました。



市有財産を売却します

市が所有している土地を売却（一般競争入札）します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

●財産名称：春日山町1丁目地内 宅地（旧春日山趣味の家駐車場用地）

▶売却物件…○所在地

地（地番）＝春日山町1丁目3474番4

○地目＝宅地 ○面積＝1282.85㎡（約388坪）

▶申し込み・問合せ…申込書

に必要事項を記入し、4月28日②正午までに用地管財課財産運用室（☎025-526-5111、内線1274、1210）へ。申込書は申込先にあるほか、市ホームページからダウンロードできます

※契約締結時に売買代金の10%以上の契約保証金が必要です（代金を契約時に一括納入する場合は免除）。

※申込締切後に開札し、市があらかじめ定めた価格以上で、一番高い金額で応札した人を購入者として決定します。



第28回小川未明文学賞

■問合せ…文化振興課（☎025-526-6903）

日本近代童話の父と称される小川未明の文学精神の継承と、新しい時代にふさわしい創作児童文学作品の輩出を目的としている「小川未明文学賞」の受賞作品が決定し、2月20日に小川未明文学賞委員会の宮川健郎会長、菊永謙副会長が村山市長に報告しました。

28回目を迎えた今回は、最年少17歳、最年長90歳の応募者による、総数409編の作品の中から選考されました。宮川会長は「時間をかけて議論した結果、特に力のある作品を選出した。大人にも楽しんでもらえるような作品だ」と話しました。

また、昨年の大賞受賞作品『湊町の寅吉』が書籍化され、上越市教育委員会へ寄贈されました。2月4日に行われた寄贈セレモニーでは、著者である藤村沙希さんが、大手町小学校5年生の児童へ「子どもの頃、本を書く人は魔法使いみたいだと思っていた。皆さんもどんな題材でもいいのでお話を作ってみてほしい。」と思いを伝えました。



大賞
「シャ・キ・パシユ理容店のジョアン」
北川 佳奈さん（東京都）



優秀賞
「トリロン」
かみや としこさん（愛知県）